

【前立腺がん地域連携パス運用手順】

前立腺がん地域連携パスについて、次のように運用させていただきますので、ご協力よろしく
お願いいたします。

1. 対象患者

広島大学病院で初回治療を受けた限局性前立腺がん患者（手術後、放射線療法後、ホルモン治療後）

2. パス導入時の連絡

患者の同意取得後、大学病院担当医から連携医療機関に診療情報提供書を作成し連絡

3. 広島大学病院への定期受診など

1年に1回。再診時には私の手帳を持参。

4. 連携医療機関の先生にお願いする診療

3ヶ月に1回の受診と尿検査、PSA検査。排尿、排便についての自覚症状確認。

※PSA結果などの診療情報を専用の返信用紙を用いて当院へ送付頂きますようお願いいたします。
その際、貴院においては、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。（パス導入時にかん治療連携計画策定料を算定したものに限り、がん治療連携計画策定料の算定有無については、連携開始時に患者さんごとに当院よりご連絡いたします）

5. パスの期間

初期治療開始後10年。10年経過後は地域連携パスを終了とし、基本検診、職場健診、人間ドックを有効利用する。

6. バリエーション

1)手術後では、PSA値 $>0.2\text{ng/ml}$ を超えて連続上昇した場合、 2)放射線療法後ではPSA値 $>$ 最低値 $+2\text{ng/ml}$ をこえて連続上昇した場合、3)排尿障害が悪化した場合、4)患者事情による広島大学病院もしくは連携医療機関への定期受診困難時、5)死亡、6)その他、パス運用継続が困難となった場合